

古文ドリル：「なり」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「なり」の正体

古文の「なり」は **2種類** の助動詞があり、入試の最頻出識別テーマ。

種類	接続	訳
① 断定の「なり」	体言・連体形	～である
② 伝聞・推定の「なり」	終止形（ラ変は連体形）	～という／～のようだ

さらに： | ③ ナリ活用形容動詞の活用語尾 | 「静かなり」「あはれなり」など語幹あり | | ④ 四段動詞「成る／鳴る」連用形 | 動詞そのもの |

識別の鉄則

1. **直前の語の活用形** を見る
2. 体言・連体形 + 「なり」 → 断定
3. 終止形（ラ変連体） + 「なり」 → 伝聞・推定
4. **語幹（静か・あはれ等）** 付きなら形容動詞
5. **文意で「～になる／鳴る」と訳せる** なら動詞

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① 直前が体言なら即・断定

名詞の直後に「なり」があれば **断定**（～である）でほぼ確定。例：花**なり** / 君**なり** / 春**なり**

→ 「○○**なり**」で「これは～だ」と訳せたら断定で即答。

コツ② 直前が終止形（u段）なら伝聞・推定

動詞の終止形（～く／～す／～むなど **u段** で終わる）に「なり」がついていれば伝聞・推定（～という／～のようだ）。例：鳴く**なり** / 響く**なり** / 来る**なり**

→ **音・聞こえ** に関する文脈ならほぼ確実に伝聞・推定。

コツ③ 語幹「やまとことば」+なり → 形容動詞

「静か／あはれ／きよげ／のどか」のような **やまとことば** に「なり」がついたら形容動詞ナリ活用。助動詞ではないので別物として扱う。例：静か**なり**／あはれ**なり**／きよげ**なり**

→ 語幹だけで意味が成立する（静か・あはれ）なら形容動詞。

コツ④ ラ変動詞の連体形+なり に注意

ラ変動詞「あり／をり／侍り／いまそかり」は **連体形**「ある／をる／侍る／いまそかる」+なり で伝聞・推定になる。例：あん**なり**／ぎ**なり**（音便で「ある→あん」「ぎるなり→ぎなり」）

→ 「ん／ぎ」と詰まる音便を見たら **ラ変連体+伝聞推定** で即答。

試験本番でのチェック順序

1. 直前が **体言** → 断定
2. 直前が **やまとことば語幹** → 形容動詞ナリ活用
3. 直前が **動詞の終止形 (u段)** → 伝聞・推定
4. 直前が **ラ変連体 (音便あん／ぎ含む)** → 伝聞・推定
5. 「～になる／鳴る」と訳せる → 四段動詞「成る／鳴る」

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- 「**あん**り」「**ぎ**なり」「**べか**なり」 → ラ変連体音便+伝聞推定（伝聞推定の典型サイン）
- 「**なる**」連体形だけ見ても、体言の前なら断定／伝聞推定どちらも可能 → 直前の活用形で判定
- 四段動詞「成る／鳴る」は **意味で判別**（～になる・～と鳴る）

採点表

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- 合計 : /100

【第1部】基礎編

Q1. 「なり」を識別せよ。

これは花なり。

Q2. 「なり」を識別せよ。

男ありけり。「我が君なり」と申すなり。

Q3. 「なり」を識別せよ。

静かなり。

Q4. 「なり」を識別せよ。

鐘の音、響きなり。

Q5. 「なり」を識別せよ。

春なり。

Q6. 「なり」を識別せよ。

あはれなり。

Q7. 「なり」を識別せよ。

鳥の鳴くなり。

Q8. 「なり」を識別せよ。

我れ古典を学ぶ者なり。

Q9. 「なり」を識別せよ。

物音、聞こゆなり。

Q10. 「なり」を識別せよ。

風なりけり。

Q11. 「なり」を識別せよ。

月清き夜なり。

Q12. 「なり」を識別せよ。

よろづなり。

Q13. 「なり」を識別せよ。

海面、なほ平らかなり。

Q14. 「なり」を識別せよ。

我れも歌詠むなり。

Q15. 「なり」を識別せよ。

鶯さへづるなり。

Q16. 「なり」を識別せよ。

我れ古典の人なり。

Q17. 「なり」を識別せよ。

都人、京を発つなり。

Q18. 「なり」を識別せよ。

風吹くなりけり。

Q19. 「なり」を識別せよ。

名にし負ふ都鳥なり。

Q20. 「なり」を識別せよ。

春になりぬ。

基礎編 / 20

【第2部】 標準編

Q21. 「なり」を識別せよ。

いと尊き人なり。

Q22. 「なり」を識別せよ。

物言ふなり。

Q23. 「なり」を識別せよ。

都に出で給ふなり。

Q24. 「なり」を識別せよ。

風静かなり。

Q25. 「なり」を識別せよ。

心ある人にこそありけれ。

Q26. 「なり」を識別せよ。

春雨降るなり。

Q27. 「なり」を識別せよ。

古典の才ある人なりければ、皆敬す。

Q28. 「なり」を識別せよ。

月かたぶくなり。

Q29. 「なり」を識別せよ。

我れ古典塾の主なり。

Q30. 「なり」を識別せよ。

嵐の音、いまだ止まずなり。

Q31. 「なり」を識別せよ。

あらたなり。

Q32. 「なり」を識別せよ。

月の出づるなり。

Q33. 「なり」を識別せよ。

雨の音聞こゆなりけり。

Q34. 「なり」を識別せよ。

我れ古典塾の弟子なりけり。

Q35. 「なり」を識別せよ。

海辺に住む人なり。

Q36. 「なり」を識別せよ。

風吹く音なり。

Q37. 「なり」を識別せよ。

心知る人なりけり。

Q38. 「なり」を識別せよ。

物言ふなりけり。

Q39. 「なり」を識別せよ。

あはれなる御方なり。

Q40. 「なり」を識別せよ。

春の風吹くなり。

Q41. 「なり」を識別せよ。

古典の道、なほ難きなり。

Q42. 「なり」を識別せよ。

物のあはれ知る人なり。

Q43. 「なり」を識別せよ。

心なりけり。

Q44. 「なり」を識別せよ。

海なる船、いま帰るなり。

Q45. 「なり」を識別せよ。

古典の文、深きなり。

Q46. 「なり」を識別せよ。

心ある人なりしが、いま見えず。

Q47. 「なり」を識別せよ。

春の野、若菜摘むなり。

Q48. 「なり」を識別せよ。

大臣なりけり。

Q49. 「なり」を識別せよ。

名にし負ふ都鳥にぞあるなり。

Q50. 「なり」を識別せよ。

仏前に祈り給ふなりけり。

標準編 / 30

【第3部】 応用編

Q51. 「なり」を識別せよ。

いみじき宿世の人なりけり。

Q52. 「なり」を識別せよ。

風の音、いまだ激しきなり。

Q53. 「なり」を識別せよ。

月明らかなりけり。

Q54. 「なり」を識別せよ。

古典の道、難きなり。

Q55. 「なり」を識別せよ。

春来るなり。

Q56. 「なり」を識別せよ。

心ある人にて、いとあはれなりける。

Q57. 「なり」を識別せよ。

月の都の人なりけり。

Q58. 「なり」を識別せよ。

我れ古典の徒にてあるなり。

Q59. 「なり」を識別せよ。

月の都の人なりけり。

Q60. 「なり」を識別せよ。

雨止みつなり。

Q61. 「なり」を識別せよ。

心ありし人なり。

Q62. 「なり」を識別せよ。

春の野に若菜摘むなりけり。

Q63. 「なり」を識別せよ。

静かなりける夜。

Q64. 「なり」を識別せよ。

都の中、いと賑はしきなり。

Q65. 「なり」を識別せよ。

物のあはれを知る人なるを、世にあらず。

Q66. 「なり」を識別せよ。

月見る人多くなる。

Q67. 「なり」を識別せよ。

いみじき才ある人なるべし。

Q68. 「なり」を識別せよ。

風さやかなる夕暮れ。

Q69. 「なり」を識別せよ。

古き友、なほ生けるなりけり。

Q70. 「なり」を識別せよ。

春になりぬれば、花咲く。

Q71. 「なり」を識別せよ。

心ある人なるぞよかる。

Q72. 「なり」を識別せよ。

月の都の人なりけり、と申す。

Q73. 「なり」を識別せよ。

風吹くなりけり。

Q74. 「なり」を識別せよ。

物のあはれ知る人ならぬ。

Q75. 「なり」を識別せよ。

月明らかならむ。

Q76. 「なり」を識別せよ。

君や心ある人なるらむ。

Q77. 「なり」を識別せよ。

風吹くと聞こゆなり。

Q78. 「なり」を識別せよ。

古典の道、深きなりけり。

Q79. 「なり」を識別せよ。

月の都の人なるを、世の人は知らず。

Q80. 「なり」を識別せよ。

童なれば、なほ文を学ぶ。

応用編 / 30

【第4部】 入試レベル

Q81. 「なり」を識別せよ。

男ありけり。その男、身を要なきものに思ひなして、京にはあらし、東の方に住むべき国求め
にとて行きけり。もとより友とする人、一人二人してい行きけり。道知れる人もなくて、まど
ひ行きけり。三河の国、八橋といふ所にいたりぬ。そこを八橋といひけるなり。

Q82. 「なり」を識別せよ。

御簾の内より人の出で来る音すなり。

Q83. 「なり」を識別せよ。

春は名のための風の寒さや。谷の鶯歌は思へど、時にあらざるなればこそ、声を立てね。

Q84. 「なり」を識別せよ。

唐土に渡りたりける人なり。

Q85. 「なり」を識別せよ。

月明らかなる夜なるを、雲なくしてさやけし。

Q86. 「なり」を識別せよ。

我れ古典の才ある者なれど、いまだ才に達せず。

Q87. 「なり」を識別せよ。

月の都の人なりけりと申す。

Q88. 「なり」を識別せよ。

嵐山の紅葉、見る人多くなりぬ。

Q89. 「なり」を識別せよ。

帝、御殿の内におはすなり。

Q90. 「なり」を識別せよ。

風吹くと聞きつなり。

Q91. 「なり」を識別せよ。

月の都に住む人なりけり、と聞く。

Q92. 「なり」を識別せよ。

雪降るなりけり。

Q93. 「なり」を識別せよ。

古典の文を解する人なりしを、いま忘れぬ。

Q94. 「なり」を識別せよ。

物のあはれを知る人ならば、これを尊しとせむ。

Q95. 「なり」を識別せよ。

風吹く音、いと激しきなり。

Q96. 「なり」を識別せよ。

海辺に住む人らなりけり。

Q97. 「なり」を識別せよ。

月清く照る夜なりけり。

Q98. 「なり」を識別せよ。

古典の道を究むる人なるべし。

Q99. 「なり」を識別せよ。

春にならば、花咲かまし。

合計 / 100

あとがき

「なり」の識別の核心： - 直前を確認：体言・連体形＋「なり」 → 断定 - 直前が終止形（ラ変連体） → 伝聞・推定 - 語幹（静か・あはれ等）＋「なり」 → 形容動詞 - 「～になる／鳴る」と訳せる → 動詞

入試最頻出の識別テーマ。接続を完全に押さえること。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太